

景観協議申出までの事業者との調整事項

横浜公園は開港当時からの歴史と日本大通りに隣接する関内地区の中心という立地を生かして、横浜を代表する良好な景観を形成する公園であり、景観重要公共施設として景観重要都市公園と位置付けられている場所でもあります。

今回の増築計画によって影響を受ける公園利用者への配慮や周辺の街への波及効果を想定しながら、特に次に示す項目について重点的に調整をしてきましたので、市の考え方を示します。

1. 「低層部のしつらえの工夫による賑わいの創出」について

主に以下の点について調整しました。

- ・増築部分が無機質なデザインとならないよう、また増築部分の下部空間が暗い場所とならず、賑わいを生み出す空間づくり
- ・関内地区および横浜公園が持つ歴史性を感じられる低層部の表現
- ・関内駅側と日本大通り側からの人の流れを受け止める空間演出
- ・関内地区の建築物では積極的に用いられていない青色について、既存スタジアムシンボルカラーとして市民に受け入れられていることも踏まえた上での使い方
- ・新たな市民開放について

2. 「敷地内の緑化」について

今回の増築により公園内既存緑の一部が減少しますので、新たな造園デザインの構築と緑環境の向上につながる計画となるよう調整しました。